

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題4	病床を減らすと補助金が出る事業について、病床を減らしたが赤字でないため補助金の補填がでなかった病院がある。実際にどれだけの方が給付を申請して実際どれだけの病床が減ったのか検証しているか。	病床数適正化支援事業において、効率的な医療提供体制の確保のため、医療機関に対し支援をしている。岐阜県では、1次内示で100床、2次内示で131床分の割り当てがあり、2次の配分については調整中である。
2		いろいろな事業があり、手挙げし忘れていた医療機関がないように、事業の該当がない圏域でも事例を紹介するとよいのではないか。	
3		病床数適正化支援事業と病床機能再編支援事業は重複して取ることはできるのか。	一つの病床に対して両方の補助金をもらうことはできないが、別の病床であれば可能である。
4	報告事項2	エリアによっては医療機関が耐えられなくなっているところもあり、県内で医療が南におりてくるのが考えられるが、今後の見方を教えていただきたい。	県外のとある市では、後継者不足や採算の問題によりクリニックが1つもないところもある。そうなる在宅を担う医療機関がなく、医療を受けないか、住まないかという選択になってしまう。医療を受けられない患者が生じないよう、在宅でしっかりと見ていく必要がある。(アドバイザー)
5		市町村ごとの患者の流出先のデータはあるのか。今後の新たな地域医療構想を考える上で、より実情にあった検討ができればと思う。	お住まいの住所の郵便番号から推定したものはあるため、患者がどこに行っているのか見ることはできる。疾患ごとにパターンが異なるため、非常に細かく分類して分析する必要がある。(アドバイザー)
6	報告事項3	地域医療課題分析において、病院名がマスキングされているが公開はされないのか。	病床機能報告で報告されている病床の機能と実態がはっきりとわかるため、今回は匿名化させていただいた。皆様のご要望により匿名不要とのことであれば、病院名を公開した資料も検討させていただく。
7	その他	どこの病院でも看護師不足が喫緊の課題である。県がイニシアティブをとって、看護師確保、定着について動いてもらいたい。	
8		高齢者救急の需要が高まる中で医師の高齢化も進んでいるため、近くの病院と上手に連携し、役割を果たすシステムを作ろうと思っている。	
9		医療従事者の確保が難しい中で、DXの推進が求められると思うが、多額の費用を要するため、県の補助のあり方等を検討していただきたい。中小病院でも手が出せるよう、国にも要望してもらいたい。	
10		中濃圏域のそれぞれの市町村人口と医療介護の状況、人口減少を踏まえて、病院診療所、介護福祉施設、訪問看護事務所等の配置と医療介護人材の配置を考えなければならない。市町村の特性を踏まえた具体的な取組みを考えることが必要である。	
11		地域医療構想では病院が主体となって議論しているが、患者の立場でかかりつけ医や介護、訪問診療となると開業医のことも考えるシステムを作る必要があるのではないか。	
12	アドバイザー	岐阜大学の地域枠の1期生が義務年限を終えて今年からフリーになったが、そのまま岐阜県に残り地域医療に貢献している。日頃から各医療機関の皆様には様々な点でお世話になっている。今後も大学としてもご協力をお願いしたい。	